

このたび、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) にて亡くなられた方にお悔やみ申し上げますと共に、罹患されている方、および不安で辛い日々を過ごされている方々に、謹んでお見舞い申し上げます。
また、日夜最前線にて対応されている医療従事者をはじめとする皆様に心から敬意を表します。

第35期 報告書

2019年3月1日から2020年2月29日まで

RORZE

半導体ウエハを搬送する当社ロボット製品

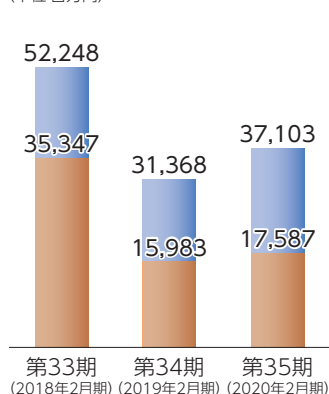
業績ハイライト (連結)

Consolidated Financial Highlights

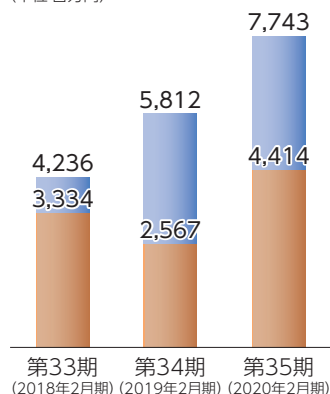
2020年2月期の業績



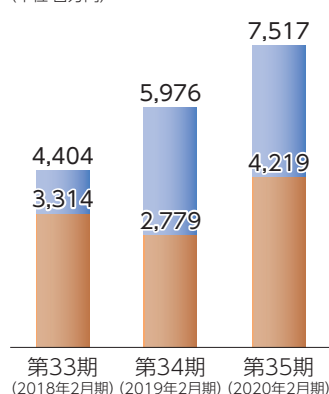
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



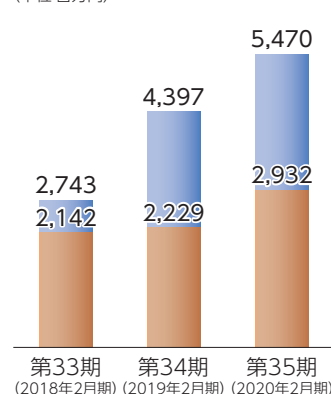
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



2021年2月期の業績見通し





当期は半導体関連装置の連結売上高が好調に推移し、営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高益を達成。グループとしてもドイツに欧州拠点設立、ベトナム工場の拡張完了、中国子会社の拡充・移転を行いました。来期も、アメリカ子会社、そして韓国工場が拡大移転し、お客様との関係強化と生産体制の構築に、より一層努めてまいります。

代表取締役社長 藤代 祥之

当期の経営成績

当期におきましては、半導体デバイスの微細化や次世代高速通信規格5Gなどへの設備投資が進み、当社グループにおいても主力である半導体関連装置の売上高が好調に推移しました。メモリーメーカーによる3D NANDフラッシュメモリーやDRAMの生産拡大に向けた設備投資が積極的に行われ、昨年同様にEFEM、ウエハソータの売上高は堅調に増加し、2012年2月期から8期連続の増収、過去最高売上高5期連続更新となりました。一方でFPD関連装置の売上高は韓国顧客の大型投資がなかったものの、前期比増。また、ライフサイエンス事業におきましては、細胞培養自動化装置の販売を国内のみでなく中国を中心とした海外においても年々伸ばしており、売上高は前期比ほぼ倍増となっております。

この結果、損益面につきましては、相対的に利益率の高い半導体関連装置の売上増加と、ベトナム子会社の新工場稼働に伴う生産効率改善などにより最終的な営業利益が前期比33.2%の増加となり、おかげさまで創業以来の過去最高益を達成することができました。

来期の見通し

新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、緊急事態宣言やロックダウン（都市封鎖）などの感染拡大防止策が世界各地で実施され、日常生活に深刻な影響を与える地域が増加しております。このため部品調達や輸送などに対する様々なリスクが考えられます。

一方でこのような状況の中でも、半導体は必要不可欠なものであり、その製造工場の稼働継続は最優先に位置づけられております。また、引き続き5G商用化、テレワークの拡大などによる通信負荷の増大、サーバー、データセンター等への需要拡大から新たな半導体需要も発生すると予測されます。当社におきましては今後のサプライチェーンによるリスクをはらみながらも、主力である半導体関連装置の売上高は順調に推移するものと考えております。また、FPD関連装置においては韓国主要顧客によるQD-OLEDパネル量産のための新規設備投資から前年比売上高が約3倍増となる見込みです。ライフサイエンス事業では、継続して国内における創薬、再生医療向けの細胞培養自動化装置の納入拡大と、中国における細胞培養ソリューションビジネスの業界標準を目指し、販売拡大と利益確保に努めてまいります。

2020年3月に35周年を迎えた当社は、この不透明な状況をさらなる飛躍の機会とするべく、グループ一丸となって必ず乗り越えてまいります。

拠点紹介



ベトナム工場が順調に稼働中

RORZE ROBOTECH(ベトナム)は、グループの生産拠点として生産効率の改善に継続して努めております。

敷地面積	31,932㎡
延べ床面積	約47,000㎡
機械加工エリア	約14,000㎡
クリーンルームエリア	約12,500㎡



RORZE ROBOTECH 全景



ロボットによる自動塗装

切削加工機、板金レーザー加工機、曲げ加工機、自動はんだ付け機、溶接ロボット、自動アルマイト処理システム、自動塗装システム、表面実装ライン、精密洗浄システム、自動倉庫設備等を備え、設計・機械加工・組立に至るまでの垂直統合型生産体制を整えております。

韓国新社屋の建設工事進行中

RORZE SYSTEMS(韓国)の新社屋第1棟(オフィス、クリーンルーム)が完成し、2019年11月末から生産稼働中です。引き続き隣接エリアに第2棟を建設しており、2020年8月に完成を予定しております。



完成予想図



完成した第1棟外観



第1棟内の大型クリーンルーム

グループ各地で拡大移転

グループの中国拠点が業務拡大のため「RORZE CREATECH」へと社名変更しクリーンルームを備えたオフィスへ移転。アメリカのRORZE AUTOMATIONも開発・製造エリアを拡張するため引っ越しを行いました。また、神奈川県横浜市港北区へ国内の事業所が移転し、併せて「横浜事業所」へと名称変更を行いました。



RORZE CREATECH 開所式



RORZE AUTOMATION 内のクリーンルーム



横浜事業所の入る新横浜TECHビル外観

主要な事業内容

セグメント	品目	主要製品名
半導体・FPD関連装置事業	半導体関連装置	大気用ウエハ搬送装置 真空用ウエハ搬送装置 ウエハ搬送ロボット等(単体製品)
	FPD関連装置	ガラス基板搬送装置 ガラスカッティングマシン
	モータ制御機器	ステッピングモータ用ドライバ コントローラ
ライフサイエンス事業	ライフサイエンス関連装置	インキュベータ(細胞培養装置)

株式の状況

(2020年2月29日現在)

発行可能株式総数 35,280,000株
 発行済株式の総数 17,281,448株
 (自己株式358,552株を除く)
 株主数 5,378名
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
崎谷文雄	6,274,200株	36.31%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,481,400	8.57
藤代祥之	737,600	4.27
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	615,100	3.56
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	540,000	3.12
株式会社中国銀行	320,000	1.85
野村證券株式会社	250,544	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口5)	177,800	1.03
大和証券株式会社	155,900	0.90
S M B C 日興証券株式会社	132,400	0.77

(注) 当社は、自己株式358,552株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

決算期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年2月末日 中間配当実施の場合：毎年8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

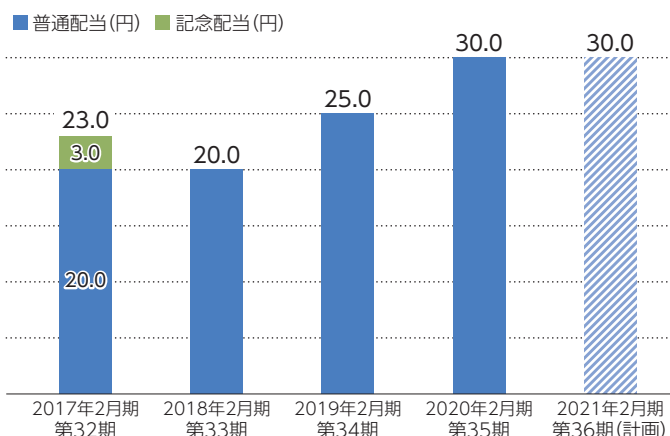
役員

(2020年5月28日現在)

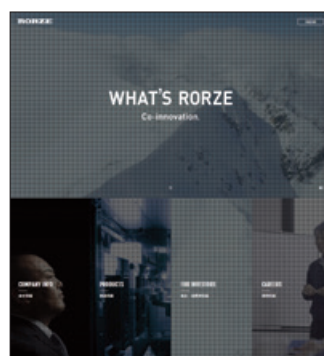
地位	氏名
代表取締役社長	藤代祥之
取締役	中村秀春
取締役	早崎克志
取締役	岩瀬好啓
取締役相談役	崎谷文雄
取締役	藤井修逸
取締役	羽森寛
常勤監査役	下出一益
監査役	栗巢普揮
監査役	金浦東祐

(注) 1. 藤井修逸及び羽森寛の両氏は、社外取締役です。
 2. 下出一益、栗巢普揮及び金浦東祐の3氏は、社外監査役です。

配当実績



ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報をご
覧いただけます。



スマートフォン
にも対応!

〇ーツェ

検索

<https://www.rorze.com>

